

財っ子通信

平成29年度 第3号

文責 校長：三樹和幸

やりたいこと できることが増え

やらなければならないことが 確実に定着し みんなが伸びる学校

財光寺小学校

電話：54-2825

校長 Email:

zaikoji-k@hyugacity.jp

その時、どう動く

テストができるのと気が利くというのは必ずしも一致しないようです。出された問題を解くのが簡単な子でも、周囲へアンテナを張って問題がないかを察知し、解決することを苦手とする子もいます。そこで、学校では、児童に係活動などの役割を与えて、責任感や協同性とともに問題解決力を高める指導をしています。その中で、やらされ感ではなく、自分で問題を見つけて、分析し、解決方法を探るのは大切な学習です。教科を超えて、地頭力（じあたまりょく）が試されます。

決まった仕事を決まったルールでやることをルーティンワークと言います。これは、安全管理をする際、決して疎かにしてはいけない大切な仕事です。しかし、ひとたび異常があった時に、大切なのが「その時、どう動く」かです。書家の相田みつを氏の作品にもある「その時どう動く」かが大切なことです。学校でも、家庭でも、日常におきる諸事に対して、すぐに叱責や説教をするのではなく、子供たちが「その時」に「どう動いたか」「どう動けたか」を見て、成長を測りながら、より良く育てたいものです。

本校児童の今

昨年度の総合アンケート結果を基にして、本校児童の今をまとめてみました。

当たり前と思っていることが当たり前でなかったり、参考点が見つかったりするかも知れません。夕食の話題にしてみて下さい。

